

マイナンバーカード活用による廿日市市高齢者外出支援事業

応募様式A

廿日市市高齢者外出支援プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	広島電鉄株式会社
事業実施地域	広島県廿日市市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉
共創パートナー	廿日市市交通政策課、廿日市市高齢介護課、廿日市市地域包括ケア推進課、廿日市交通株式会社、株式会社廿日市カープタクシー、株式会社ささき観光、有限会社津田交通、佐伯交通有限会社
運行形態	①路線バス ②一般乗合旅客自動車運送事業
運行主体	廿日市交通株式会社、株式会社廿日市カープタクシー、株式会社ささき観光、有限会社津田交通、佐伯交通有限会社

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の外出意欲が低下していることで、高齢者のバス利用が減少しているほか、フレイル等の健康被害につながるリスクが高まっている。
高齢者の外出意欲の向上を図るため、マイナンバーカードを活用した高齢者割引制度を実施する。
- 少子高齢化に伴う人口減少やマイカーの普及等により、バス利用者が減少していることで、現行のバス路線の維持が難しくなっている。
高齢者のバス利用を促進するため、MOBIRY DAYS（クラウド型キャッシュレス決済）とマイナンバーカードの連携により、利用する高齢者の住所や年齢、性別等が紐づいた乗降データを取得し、属性ごとに利用状況を分析することで高齢者に使いやすい路線、ダイヤを検討していく。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有

運輸局・運輸支局への事前相談

中国運輸局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

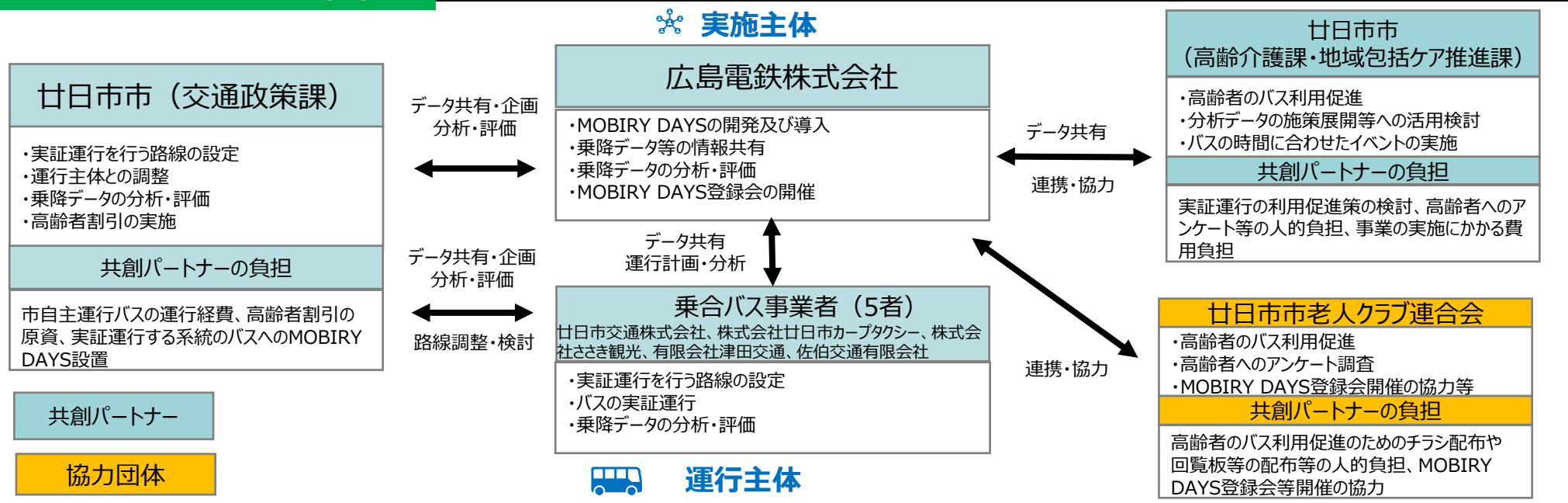
—

マイナンバーカード活用による廿日市市高齢者外出支援事業

応募様式A

廿日市市高齢者外出支援プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

（事業の概要）

廿日市市が運行している市自主運行バスにMOBIRY DAYSを設置し、マイナンバーカードとのデータ連携による高齢者割引制度等を実施することでバスの利用促進を図るほか、取得した乗降データを分析し、交通分野、福祉分野での施策展開の活用を図る。

地元の高齢者団体である廿日市市老人クラブ連合会と連携し、MOBIRY DAYSの登録会の開催や、マイナンバーカードの紐づけ窓口の設置等により利用促進を図ることで高齢者のバス利用の増加を図る。

（地域の関係者との連携・協働）

廿日市市老人クラブ連合会や高齢者の様々な情報を把握している廿日市市高齢介護課及び地域包括ケア推進課と共創することで、新規利用者の掘り起こしや、バスの利用促進等を進めることができ、効果的に高齢者の外出機会を創出することができる。

（地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性）

今回の実証実験は、廿日市市で運行している自主運行バスの既存路線を活用するものである。

マイナンバーカード活用による廿日市市高齢者外出支援事業

応募様式A

廿日市市高齢者外出支援プラットフォーム

事業実施手順・スケジュール



取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

・高齢者の住所や年齢等が紐づいた詳細な乗降データをもとに利用実態を把握することで、地域公共交通の路線再編の資料に活用できるほか、地域ごとの公共交通機関の利用人数や高齢者の移動状況等のデータを今後の福祉施策展開への活用が可能となり、高齢者が外出しやすくなるような、使いやすくわかりやすい公共交通を目指すことができる。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

・高齢者割引制度の実施やバスの時間に合わせた福祉事業イベント等の実施により、高齢者の外出意欲が向上することで、バス利用者数の増加に加えフレイル等の健康被害のリスクを軽減させることができる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
○	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	○	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

・廿日市市が運行する自主運行バスにMOBIRY DAYSの車載器を継続して設置することで、取得する乗降データに基づき、交通分野（高齢者に使いやすい路線・ダイヤの検討、高齢者割引制度等のサービス提供）、福祉分野（現段階での性別・年代別等の移動を把握することにより、高齢者が移動する先の施設・設備等へのバリアフリー化等への検討や、高齢者が集まりやすい場所等での事業の実施）等での活用を図り、バスの利用促進、高齢者の外出意欲向上等に繋げていく。

・マイナンバーカードとの連携による氏名・住所・生年月日・性別の基本4情報と紐づけが可能な乗降データは汎用性が高く、他の公共交通機関でも一定数のニーズを見込むことができる。また、システムの導入により同水準のサービスが使用可能であり、再現性が高いため、システムの改善を図りながら他の公共交通機関との連携を検討していく。

資金面	廿日市市自主運行バスの運行に対する費用、福祉施策等による割引施策にかかる費用
人材面（運転手の確保）	市自主運行バスを受託する事業者に対する中型免許取得にかかる費用の一部補助